

11 カスリン・アイオン台風の大災害の記憶を伝える治山事業 岩手県（宮古市）



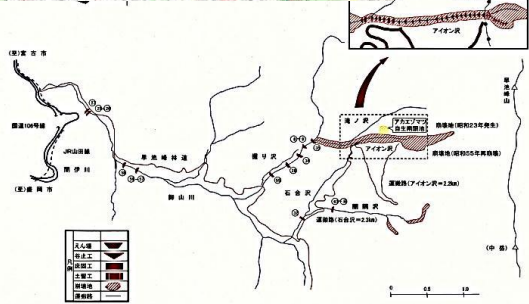
昭和23年アイオン台風で被害を受けた川井村（現宮古市）



昭和55年当時の荒廃状況



森林の復旧状況（平成22年7月）



○**所在場所**
かどま
 岩手県宮古市門馬第2地割字門馬山国有林

○**施設・工法の概要**
 昭和25年より着工 平成17年時点で溪間工等47基、山腹工11ha

○**解説**
 昭和23年にアイオン台風により、距離約1km、面積約28haの大崩壊が発生し、崩壊した土砂により河川がせき止められ、それが決壊し下流域に壊滅的な被害を及ぼしました。

この大災害をきっかけとして、石合沢上流部をアイオン沢と呼ぶようになったといわれ、昭和25年から被災流域に治山施設を施工する復旧事業に着手しました。完成当時は国内最大級の治山堰堤をはじめ、溪間工、山腹工によりアイオン沢の復旧が図られました。

現在は植生が回復し森林に復旧しつつあり、大きな災害もなく下流域を保全しています。